

三溪だより

～心かがやき ともにのびる 三溪っ子～
めざせ あいさついっぱい えがおいっぱい 楽しい三溪小学校



三溪小学校キャラクター
サブローイックさん

発行：令和5年6月23日

地域とともにある学校をめざして

校長 宮武 紀子

先日、地域にお住いの方から、こんな嬉しいお話を伺いました。その方が西玄関から校舎内に入られて、来客用の吊り下げ名札を探していると、そこへ「おはようございます」と挨拶をしながら児童が通りかかったそうです。するとその児童は、その方の困っている様子を察し、名札の保管場所や来校者リストへの記録の仕方を丁寧に教えてくれたのだそうです。それだけではなく、スリッパを靴箱から取り出して「どうぞ」と言って揃えてくれたのだそうです。「こんなに素晴らしい児童がいるとは」といたく感心され、校長室まで伝えに来ていただきました。

既にお知らせしておりますように、本年度は心の交流事業の研究指定を受け、「相手の立場になって考える力」や「相手の気持ちを推し量る力」といった相手を尊重する心の育成に日々努めているところです。同学級や同学年といった校内での人間関係をこえ、来校された恐らく初対面であろう方々に対しても、その精神性が発揮され、実際に行動できる力へと高められていることが、誇らしく思えた出来事でした。

そして何よりも、子どもたちの成長を評価して下さり、自分事のように喜んで下さる地域の皆様の温かい御心に、深い感謝の念を抱いた次第です。

これまでの「開かれた学校」から、地域の方々と目標やビジョンを共有し、一体になって子どもたちを育む「地域とともにある学校」への転換を、本校でも図っているところです。この学校通信を通して、保護者の皆様だけでなく、地域の全てのご家庭に本校の教育目標や運営方針を発信させていただいておりますが、皆様にご理解いただき、お力添えをいただきながら学校運営を進めていけることに、心より感謝致しております。朝の立哨活動を始め、野菜づくりのための学校園の整備やご指導、地域の文化継承を図る「地搗き唄」や「溪学」（藤川三溪先生の業績や生き方について学ぶ学習）のご指導、さらには「放課後子ども教室」での学習支援と、様々な形で教育活動をご支援いただいておりますが、本年度は新たに、読み聞かせや授業サポートといった面からもご助力いただく予定です。

去る15日には、3年ぶりに三郎池のゆる抜きが公開され、本校からも14名の中学年児童が見学に訪れました。ゆる抜きの迫力を目の当たりにするとともに、三郎池が地域全体の米作りを支える大切な水資源になっているという大きな意義を実感できたことは、子どもたちにとっての非常に貴重な学びの機会になったと言えます。

本市は「シビックプライド」の醸成を教育理念の一つとしています。「シビックプライド」とは、自分の住む地域に対する愛着や誇りをもち、地域の発展に貢献しようとする思いです。きっと、たくさんの皆様に支えられた実感や感謝の心の蓄積が、地域への恩返しのような形として、今後現れてくるのだと思います。

本校の子どもたちも然り。三谷町の文化や風土に直にふれたり、地域の皆様からの見守りやご支援、ご指導を通して蓄積された温かい心の記憶が、地域に対する能動的な取組みへと必ず還元されていくものと確信しています。冒頭でご紹介した出来事も、日頃から自分たちがお世話になっている地域の方々に敬う心の現れだと捉えています。地域を誇る心や互いを慈しむ温かい人間性を、本校の子どもたちが継承できる様、指導に努めて参る所存です。今後共よろしくご支援賜ります様、心よりお願い申し上げます。

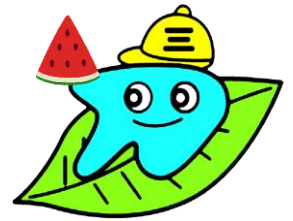


〈中学年児童が参加した、三郎池の壮大な「ゆるぬき」〉

7月の主な行事予定



- 3日(月) 諸日引き落とし日 4日(火) 委員会活動 (5・6年)
5日(水) 全校朝会 / 屋島集団宿泊学習保護者説明会 (5年)
6日(木) 4時間授業 (3年2組のみ研究授業のため5時間授業) 7日(金) ララ号
14日(金) 4時間授業 / 個人懇談会 17日(月) 海の日
18日(火) 4時間授業 / 個人懇談会 19日(水) 4時間授業 / 個人懇談会
20日(木) 1学期終業式 21日(金) 夏季休業日 (~8/31)



学校の窓

教育活動の様子を担当者が紹介するコーナーです。

現職教育研究主題

個を伸ばし、学び合う集団へと成長させる教育活動の推進

— 「問い」と「振り返り」を基盤とした、主体的・協働的な学びの充実 —

本校の現職教育の研究主題は、「個を伸ばし、学び合う集団へと成長させる教育活動の推進」です。これまでと同様に、本年度も各教科等の教材のもつ本質を明確にしていくとともに、「問い」と「振り返り」を基盤とした、主体的・協働的な学びの実現に向けた授業展開及び教育活動を進めていきます。

本校児童は、令和4年度全国学力テストや県学習状況調査の結果、「目的や意図に応じて必要な内容を取り上げて文章を書く」という内容においては大きく改善されていました。しかし、「目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つける」「叙述を基に、理由とともに自分の考えをまとめる」の内容においては課題がみられます。それは、授業の中で、児童自ら必要とする情報を選択させる学習活動の不足や、学んだことを自分の言葉で振り返り、まとめる活動が不足しているからだと思います。また、児童の学習に関するアンケート結果では、「授業の中に、目標やねらいが示されている」においては、90%の児童が意識された学習ができているのに対して、「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている」については、30%の児童が十分でないと感じていました。児童一人一人が学びを自分事として捉え、興味をもって学び続けることができるような授業改善を推進していく必要があります。また、その問いに対するまとめや授業を通して「何が分かるようになったのか」「どのような変容があったのか」「もっと考えたいことは何かについて自覚させるためには、振り返り活動の充実が大切であると考えます。

そこで、「問い」と「振り返り」を基盤とした、主体的・協働的な学びの充実を図るとともに、「深い学び」につながる交流活動の工夫、学び合いの基盤となる集団づくりを重点目標とします。さらに、今年度は、県の指定を受け、「心の交流事業」を推進します。そのため、主体的・協働的な学びの展開を、児童主体の活動にも転用させ、自発的・自治的な交流活動の実現を図るとともに、児童の自己有用感の向上も図るべく研究を進めていきます。

(文責：現職教育主任)

----- 切り取り線 -----

通信欄

三溪だよりをお読みいただき有難うございます。私どもは地域の皆様や保護者の皆様と共に子どもたちを育ててまいりたいという願いをもっています。そこで、「三溪だより」に対するご意見や感想をお待ちしております。ご近所のお子さんにお言付けいただいたり、正門郵便ポストにお入れいただけたら幸いです。個別に回答させていただくこともあろうかと思っておりますので、よろしければお名前をお書きください。どうぞよろしくお願い致します。

ご意見・感想

保護者・地域 お名前 ()